

お金の知識をもっと身近に

ライフマネー通信



特定非営利活動法人 NPO かなびの丘

独立行政法人福祉医療機構 社会福祉振興助成事業

新型コロナウイルスで変わる「お金の意識」

新型コロナウイルスによる影響を受けておられるみなさまには、心よりお見舞い申し上げますとともに一日も早い収束を願うばかりです。

さて、一旦は落ち着いたようにみえましたが、夏を前に再び感染が拡大してきています。マスクや10万円給付金など話題に事欠きませんが、本紙では、「お金の意識」の視点から考えてみたいと思います。

新型コロナウイルスの流行でお金に対する意識が大きく変化する可能性があります。たとえば、在宅勤務がどれほど進むかは未知数ですが、進んだ場合、都心部や都市郊外に居を構えなくてもよくなることで、住まいのあり方や実家の高齢となった親の世話のあり方も変わるかもしれません。通勤に要していた時間を親の介護に充てたり、家族で食事をする時間も増えたりで、時間やお金の使い方も変わってきます。

また、テレワークの推進や副業の解禁働き方についても大きく変わっていくように思われます。今はフリーランスにとって厳しい状態になっていますが、これまでと同じ労働環境が続く可能性は

低いと思います。お金を含めて何の目的に働くのかについて考える時期なのかもしれません。

一方、新型コロナウイルス流行前から動きはありましたが、銀行の店舗数の減少は速度を上げています。新型コロナウイルスでネットバンキングへの移行が進み、手厚く配置されていた行員数が減っています。案内係のサポートで銀行での手続きができていた方にとっては不便なものになっています。ATMの共同化やキャッシュレス化によって、人が対応する形はますます減っていくと思われます。

新型コロナウイルスの勢いは未だ収まりそうにありませんが、ウィズコロナやアフターコロナといったキーワードが出て、社会が大きく変化しようとしていることは間違いのないと思います。社会構造まで変わろうとしている中で、きっとお金に関する意識も大きく変わっていくことでしょう。



